

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成18年12月21日	
		作成部署	土木建築部港湾課	
事業名	地方港湾宮津港海岸環境整備事業	構想番号		
		地区名	地方港湾宮津港（江尻地区）	
概算事業費	33.8億円	事業期間	昭和62年度～平成29年度	
事業概要	護岸（改良）863m 突堤18基 人工海浜110km ³ 遊歩道863m			
関連する公共事業	なし			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
	主要な評価の視点			
地球環境・自然環境	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化（CO₂排出量等） 地形・地質 物質循環（土砂移動） 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>京都府レッドデータブック掲載の消滅・絶滅が危惧される地形や野生生物の存在は確認されなかったが既設護岸前面には魚類の産卵・育成場となっている藻場が形成されており、極力影響のない構造とする。</p>	<p>藻場が沿岸漂砂の影響により消失してしまう危険性があるので、砂を突堤間で安定させる静的安定海浜の形成を図る。</p>	△
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> 水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>護岸施工区域に漁業振興の一環として設置された人工魚礁が存在し、魚類の産卵、育成に大きな役割を果たしている。</p>	<p>近接部に新たな魚礁を設置し、生態系及び漁業活動への影響を極力少なくする。</p>	△
地域個性・文化環境	<ul style="list-style-type: none"> 景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>若狭湾国定公園に指定され、日本三景天橋立に隣接する海岸であるが、侵食の進行により砂浜が消滅し、老朽直立護岸や消波ブロックにより、海辺とのふれあいや、景観を阻害している。</p>	<p>景観性や海辺へのアクセスに配慮した緩傾斜式の護岸を採用し、また砂浜や植樹帯を有した遊歩道を設けることにより景観や親水性の向上を図る。</p>	○
地域の環境像	若狭湾国定公園に指定され、日本三景天橋立と連続する海岸であり多くの観光客が訪れる地区である。また藻場や人工魚礁が存在し、生態系の保全についても重要な役割を果たしている。			
特記事項	なし			

※「環境評価」欄には、評価項目ごとの環境配慮の自己評価を記載する。（改善○、中立△、悪化×）